

事業番号	18 01 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	人事委員会運営費	部局	人事委員会事務局	課・室	—				
		実施期間	S26 ～	E-mail	jin	@	pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

職員採用試験の実施、職員の給与等に関する報告及び勧告、公平審査事務等、人事行政に関する専門的、中立的機関としての人事委員会の役割を果たしていく必要がある。

2 事業目的

人事行政の専門機関として、採用試験や選考により将来の長野県行政を担う多様で有為な人材を採用するとともに、職員の給与等に関する報告及び勧告等を行い、県職員の適正な処遇を確保し、県職員が公務に専念し、組織の活力を最大限に発揮する環境を整える。

3 事業目的を達成するための取組

①職員採用試験
多様化する行政ニーズに積極的に取り組める有為な人材の確保を図るため、職員採用試験を実施。受験者増に向けて、オンラインコンテンツを含めた情報発信や説明会、第一次試験のオンライン化等を実施。
②職員の給与等に関する報告及び勧告
職員の給与について、地域の民間従業員の給与、国及び他の都道府県の職員の給与との均衡を図ること等を考慮し、報告及び勧告を実施。
③公平審査事務
職員の不利益処分についての審査請求等に対し審査事務を実施。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	大学卒業程度試験の競争倍率	倍	4.4	2.7	↘	2.5	↘	4.1	未達成
②	民間給与実態調査完了率	%	85.6	85.6	→	88.9	↗	85.6	達成

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	0	25,855	0	25,855	25,855	22,322	12.9
R6年度	0	21,952	0	21,952	21,952	19,603	12.0
R5年度	0	21,839	0	21,839	21,839	21,728	12.0

事業番号	18 01 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	人事委員会運営費		部局	人事委員会事務局	課・室	—		

7 主な取組実績と成果

①職員採用試験

○職員採用試験制度の改正

大卒程度試験における人物評価を慎重に行うため、個別面接に比重を置きグループワークを廃止した。大卒程度及び社会人経験者を対象とする試験・選考では更なる人材の多様化を目的とし、社会福祉職で手話通訳士資格を第一次試験の点数加算に追加。

○広報活動の強化

- ・民間企業等主催による合同企業説明会等（リアル：28回 オンライン等：8回）への参加や当人事委員会独自のガイダンス等（リアル：3回 オンライン等：17回）を開催。この結果、延べ1,878人が参加した。
- ・創造的活動支援制度（20%ルール）を活用し、「note（ノート）」による情報発信を令和4年度から開始し、令和7年度においては11本の記事を投稿した。noteでは、現地機関も含めた若手職員が、なぜ県職員を目指したのか、日々どんな業務を任されている、その仕事の意義はどこにあるのか、どんなところにやりがいを感じるのかなど、就活生が求める職員の本音を記事にしている。（閲覧数：63,769PV、反応数：810スキ）

②職員の給与等に関する報告及び勧告

○寒冷地手当に関する報告及び勧告を実施（7/4）

<報告及び勧告のポイント>

- ・支給地域（67市町村→全県）、支給額（世帯主16,000円→14,000円、準世帯主9,000円→8,000円）の改定

○情勢適応の原則に基づき、職員の給与等に関する報告及び勧告を実施（10/16）

<報告及び勧告のポイント>

- ・4年連続で月例給（勧告率2.86%）、特別給（4.60月分→4.65月分）ともに引上げ

③公平審査事務

職員の不利益処分に対する審査請求について、新規・継続ともに事案はなかった。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	大学卒業程度試験の競争倍率	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
人口減少や少子化、民間企業の採用活動の活発化の影響により、受験者数が減少。結果として競争倍率の低下にも繋がった。							
指標②	民間給与実態調査完了率	R6年度推移	→	R7年度推移	↗	達成状況	達成
丁寧な調査依頼を心掛けるとともに、調査の負担感を軽減するためメール等を活用することで、調査完了率を維持した。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・職員採用試験においては、一定の受験者数を確保し適度な競争性を維持するため、民間企業併願者が受験しやすいような試験制度の継続的な実施を行う必要がある。また、応募→受験→合格→内定→採用というフローの中で応募人数の確保や各採用フェーズに進む人数を増やすため公務員や長野県職員の魅力発信を継続的に行う必要がある。
- ・民間給与を精確に職員給与に反映させるためには、民間給与実態調査においてなるべく多くの事業所に協力いただく必要がある。このため、調査の簡略化や調査の必要性の周知が課題である。

(2) 事業改善の方策

- ・職員採用試験においては、国や他の地方公共団体等の状況を注視し、一定の受験者数を確保するため、試験回数や試験時期の見直し等試験制度改正を行う。また、受験者数増に向けて、noteやSNS、パンフレット等を活用し、情報発信を強化する。
- ・民間給与実態調査においては、多くの事業所から回答が得られるよう引き続き丁寧な説明や多様な回答手法による調査を行う。また、人事院に対し調査完了率向上に向けた制度の改善等を求めていく。

事業番号	18 01 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	人事委員会運営費		部局	人事委員会事務局	課・室	—	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	人事委員会運営費		21,728 千円	19,603 千円	22,322 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	職員採用試験	直接 委託	県職員（大卒・短大・高卒程度）、警察行政職員（大卒・高卒程度）、警察官、小中事務職員等の採用試験、選考を実施		
			県職員（7回）、警察行政職員（2回）、警察官（4回）、小中事務職員、選考（4回）		
2	職員の給与等に関する報告及び勧告	直接	民間給与実態調査等を行い、職員の給与等に関する報告及び勧告を実施		
			民間給与実態調査（190事業所を調査）		
3	公平審査事務	直接	職員の不利益処分についての審査請求等の審査事務を実施		
			事案（0件）		